

2017年度事業報告書

2017年4月1日から2018年3月31日まで

特定非営利活動法人アフリカ日本協議会

1 2017年度事業について

1) アフリカ支援事業：

アフリカにルーツを持つ子どもを対象としたアフリカンキッズクラブの活動。
在日アフリカ人との連携、支援につながる活動など。

2) ネットワーク形成事業：

次回TICADに向けて、アフリカに関わるNGO連携強化のためダイレクトリーの作成。
SDGs市民社会ネットワークの運営体制の整備と組織の拡大への支援など。

3) アフリカ調査・研究事業：

他のNGOと連携して世界食料デー月間のプレイベント、メインイベントの開催。
アフリカ熱帯林・野生生物保全などのセミナーの開催など。

4) 政策提言事業：

アフリカおよび国内外のNGOとの連携による国際保健に関する政策提言活動。
ジョイセフと共同で外務省NGO研究会「グローバルヘルスとNGO」を実施など。

5) アフリカ理解促進事業：

ウェブサイト・会報等を活用したアフリカが直面する課題、特に国際保健、食料安全保障、アフリカ熱帯林の課題に関わる情報発信、セミナー開催ほかの取り組みを実施など。

2 事業の実施に関する事項

別紙参照

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数 (実施にあたった AJF関係者)	受益対象者の範囲及び人 数	事業費の金額 (千円)
アフリカ支援事業	<p>○在日アフリカ人コミュニティ、他のNGOや関係者と連携して、日本社会における多様なアフリカ理解の促進、在日アフリカ人が直面する課題解決につながる取り組みを行う。</p> <p>○アフリカンキッズクラブを運営し、アフリカにルーツを持つ子どもや保護者が交流・情報交換する企画を実施する。以下のイベントを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Enjie 地球大運動会参加 ・アフリカンヘア&ケア講習会 ・第6回サマーキャンプ ・タンザニア絵本作家キラカさんワークショップ ・Enjieチャリティ・フットサル大会参加 ・クリスマス会(協力:拓殖大学アフリカ研究愛好会) ・ユース@カフェ 	<p>2017年4月～2018年3月</p> <p>2017年6月4日</p> <p>2017年6月11日</p> <p>2017年7月29日～30日</p> <p>2017年8月4日</p> <p>2017年9月11日</p> <p>2017年12月17日</p> <p>2018年1月7日</p>	<p>-</p> <p>東京都新宿区</p> <p>東京都新宿区</p> <p>東京都奥多摩町</p> <p>東京都渋谷区</p> <p>東京都調布市</p> <p>東京都新宿区</p> <p>東京都新宿区</p>	<p>10人</p> <p>5人</p> <p>10人</p> <p>20人</p> <p>10人</p> <p>5人</p> <p>10人</p> <p>5人</p>	<p>全国の在日アフリカ人団体、在日外国人支援団体</p> <p>アフリカにルーツを子どもと保護者</p> <p>100人</p> <p>50人</p> <p>40人</p> <p>50人</p> <p>10人</p> <p>60人</p> <p>20人</p>	<p>615</p>
ネットワーグ形成事業	<p>○JANIC、GII/IDI・NGO連絡会、NGO・労組国際協働フォーラムに参加し、アフリカや国際協力活動に関わるNGO同士の連携強化に努め、それぞれの分野の取り組みを主導した。</p> <p>○AJFウェブサイトで公開しているアフリカに関わるNGOデータベースを一部、更新した。</p> <p>○次回TIGADIに向けて、アフリカに関わるNGO連携強化のため、ダイレクターを印刷し、4回の連続セミナーを行うとともに、アフリカ政策へのアドボカシー活動を進めた</p>	<p>2017年4月～2018年3月</p> <p>2017年4月～2018年3月</p> <p>2017年5月～2018年1月</p> <p>以下参照</p>	<p>-</p> <p>事務所</p> <p>東京都内</p> <p>以下参照</p> <p>東京都台東区</p>	<p>3人</p> <p>4人</p> <p>4人</p> <p>以下参照</p> <p>3人</p>	<p>国内外関係NGO、日本政府(特に外務省)</p> <p>NGO、市民、企業</p> <p>ダイレクター配布先(市民、NGO、政府、国際機関、企業)、セミナー受講者(述へ80人)</p> <p>以下参照</p> <p>90団体近くが参加</p>	<p>9,312</p>
	<p>・SDGs市民社会ネットワークの事務局として、同ネットワークの運営体制の整備と組織の拡大に取り組んだ。</p> <p>・国連「持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラム」(HLPF)について、日本の市民社会の参画をリードした。政府との意見交換会を開催し、市民社会独立評価報告書を発表、また、「アフリカのSDGs達成に関する東アフリカの協力」についてのサイトイベントを、韓国のAfrica Insight、ケニアのSDGsセンター・フォーラム等と連携して主催した。</p> <p>・SDGs市民社会ネットワークの年間総会に併設して、設立記念イベントを開催</p>	<p>2017年5月～7月</p> <p>2018年2月</p> <p>以下参照</p>	<p>東京都内、米国ニューヨーク市</p> <p>東京都内</p> <p>以下参照</p> <p>横浜</p> <p>東京都内</p>	<p>4人</p> <p>7人</p> <p>以下参照</p> <p>1人</p> <p>1人</p>	<p>日本市民社会からの参加20名(ユース等含む)</p> <p>参加者100名</p> <p>以下参照</p> <p>以下参照</p>	
	<p>○アフリカにおける食料安全保障に関する啓発等のために以下を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界食料デー月間イベント開催 ・世界食料デー月間イベント「WORLD FOOD NIGHT」開催 	<p>2017年08月19日</p> <p>2017年10月13日</p>	<p>以下参照</p> <p>以下参照</p>	<p>以下参照</p> <p>以下参照</p>	<p>以下参照</p> <p>以下参照</p>	

アフリカ調査・研究事業	・HFW・JVC・OJ・PRIME 共催連続公開セミナー「食べものの危機を考 える」を2回開催	2017年9月、12月	東京都内	1人	
	・FAOの資料を読む学習会1を毎月開催した。学習会参加者によるアフリカNOWへの寄稿2件。				
	○アフリカ熱帯林の課題に關して、現地のNGOと連携し、情報提供及び 日本国内の教育普及活動も積極的に進める活動として以下を行った。	以下参照	以下参照	以下参照	以下参照
	・教育普及活動として、地球環境異変に關する映画の上映と、アフリカで の環境破壊の事例も交えた「映像に關する解説トーク」を開催した。AJF 主催で計5回開催し、計4回後援した。また、アフリカ熱帯林の保全につ いての様々な課題に關する講演を10回ほど後援、学生向けの勉強会を1 回主催した。	2017年4月～2018年3月	全国	3人(～5人)	各回30～100名程度が参 加
	・『地球が壊れる前に』上映会(AJF主催)	2017年12月1日	東京	4人	約50名参加
	・勉強会「生物多様性保全を考える集い～世界の中の日本と動物園の課題 」	2018年3月19日	東京	3人	約25名参加
	○世界各地のエイズに關する最新情報を紹介し、エイズ対策形成を促す メールマガジン「グローバルエイズ・アツパデ」1314号～339号を発行し た	2017年4月～2018年3月	-	10人	1350部発行
	○市民ネットワーク for TICADに参加して、TICADプロセスを通じたアフリ カ政策へのアドボカシー活動を前進させた。 ・TICAD共催者会合に出席(8月) ・モザンビーク開催級会合に出席(8月) ・外務省との対話(2回)、UNDPとの対話(2回)	2017年4月～2018年3月	東京都内	3人	国際協力NGO30団体
	○エイズに關する国際的ネットワークに参加し、日本の関与を高めるた めの取り組みを強化した。グローバルファンド活動者ネットワーク (GFAN)、アジア太平洋エイズ・サービス組織評議会(APCASSO)など。	2017年4月～2018年3月	東京都内、アムステル ダム、バンコク(タイ)、 ハワイ、ホーチミンシ テイ(ベトナム)	2人	世界及びアジア太平洋の エイズ活動家等(200名程 度)
	○アフリカ、アジアおよび国内外のNGOと連携して、国際的な保健に關す る政策提言を行い、保健分野の改善に寄与した。(GII/IDI懇談会の業務 およびグローバルファンド活動者ネットワーク、アジア太平洋エイズサービ ス組織評議会)	2017年4月～2018年3月	東京都内、オランダ・ アムステルダム、韓 国・ソウル等	1人(派遣人数)	国際協力NGO40団体 (GII)、国際活動家総数 100名
政策提言事業					
アフリカはじめとする国内外のNGOと連携して、国際的な保健に關する政 策提言を行い、保健分野の改善に寄与した ●JOIGFPと共同で外務省NGO研究会「グローバルヘルスとNGO」を実 施し、成果物『ユニバーサルヘルス・カバレッジと市民社会の取り組み』 を発行 ●UHCフォーラム2017に合わせて、市民社会会合を開催し、またUHC フォーラムにスタッフ1名が参加。サイドイベントの開催と提言活動への参 加を行った。	2017年4月～2018年3月	東京都内	2人	外務省NGO研究会ワー キングに参加者40名×4回 (述べ160名) UHCフォーラム市民社会 会合参加者 42名	

	<p>・アジア・太平洋地域グローバルフレンド活動者ネットワーク(GFAN-AP)の理事であるスタッフが上記ネットワークの会議に派遣。</p> <p>○モザンビーク・プロサバンナ事業に対するモザンビーク農民組織・市民組織の声を日本に伝え、その声に応える取り組みを進める。</p> <p>開示請求等を通して入手した資料を公開した</p> <p>プロサバンナ事業対象地のモザンビーク農民によるJICAへの異議申し立てを支援する取り組みを行った</p>				5人 5人			
	○会報「アフリカNOW」第108号～第110号を発行した	2017年4月～2018年3月	-	12人	各500部程度を作成し会員への配布及び非会員への紹介、販売を行った。			
	○ウェブサイトを整備し、AUFの企画案内・報告にとどまらず、アフリカ熱帯林関連報道記事ほかアフリカ理解を深めるコンテンツを充実させた	2017年4月～2018年3月	-	3人	ウェブサイトを訪問者(参考:月平均7400名)			
アフリカ理解促進事業	○アフリカ関連イベント・情報を紹介するメールマガジン「AFRICA ON LINE」第889号～第939号を発行した	2017年4月～2018年3月	-		2,098部発行			347
	○グローバルフェスタ2017に出展した	2017年10月	東京都江東区	15人	グローバルフェスタ参加者			
	○アフリカネットワークイベント	2107年12月	東京都新宿区	10人	約50名			
	○アフリカ健康フォーラム(第1回～第3回)を開催した。	2017年10月～2018年3月	東京都新宿区	3人	各回30～50名参加			